

環境調査結果のお知らせ

平成26年1月14日午前9時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温14～16℃、塩分32～34、溶存酸素量7～9mg/lでした。
透明度は4～11mで、湾奥部でアカシオ・サンガイネアによる赤潮が発生していました。

水温と塩分(表1・2)

水温は14.2～16.2℃、塩分は32.4～33.8でした。前回調査時(H25.12.10)と比較して、水温は1℃低下、塩分は1上昇していました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は7.2～8.8mg/lで、前回より1mg/l上昇していました。

プランクトン(表4・5)

透明度は4.9～12.5mでした。

大谷漁港周辺で着色が見られ、検鏡の結果、アカシオ・サンガイネアが最高1,040cells/ml確認されました。その他、有害種のケラチウム・フルカが最高3cells/ml、ミリオネクター・ルブラが最高3cells/ml確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルに海水を汲む等して、中央漁業指導所か水産試験場まで連絡してください。

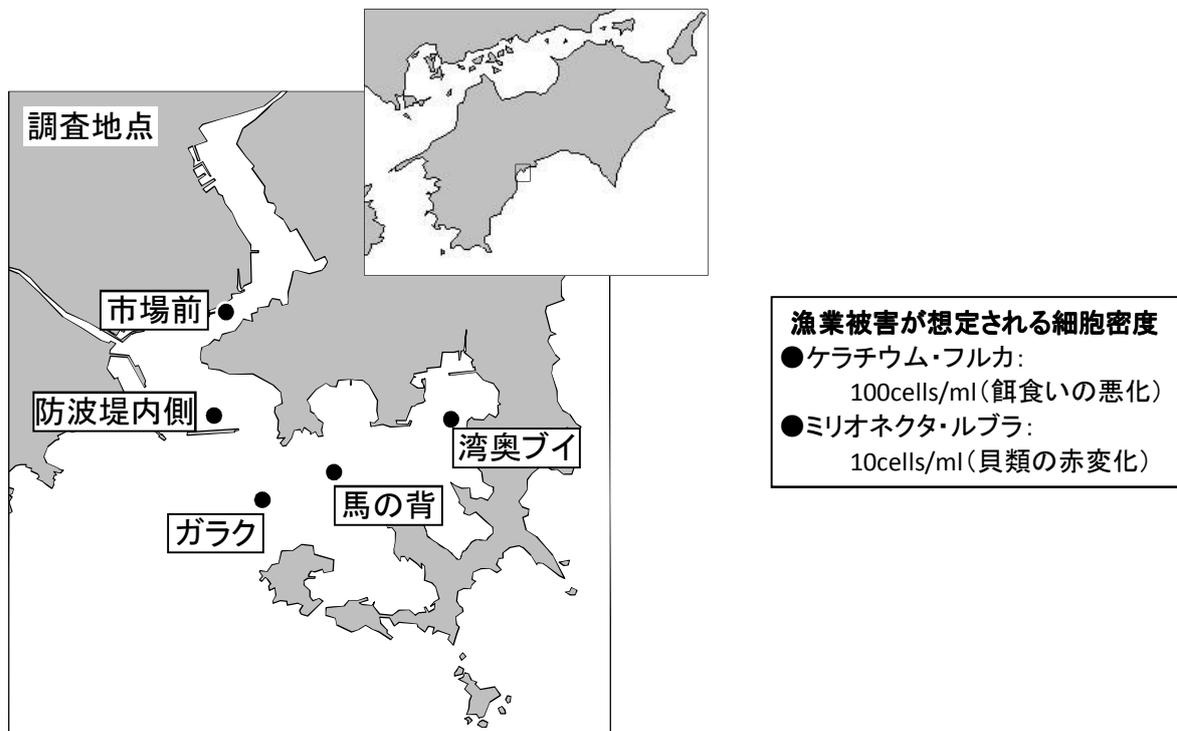


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H25.12.10)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	15.5	15.8	16.1	14.2	15.8	16.7	▲ 0.9	14.1
2m	15.6	15.8	16.1	14.5	15.8	16.7	▲ 0.9	14.8
5m	15.6	15.8	16.2	14.4	15.8	16.8	▲ 1.0	14.9
10m	15.5	15.8	16.1	14.7	15.8	16.9	▲ 1.0	-
B-1m	15.4	15.6	16.1	15.8	15.7	16.9	▲ 1.2	15.5

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H25.12.10)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	33.7	33.7	33.8	32.4	33.7	33.1	0.7	33.0
2m	33.7	33.7	33.8	33.2	33.7	33.1	0.7	33.3
5m	33.7	33.7	33.8	33.2	33.8	33.2	0.6	33.3
10m	33.7	33.7	33.8	33.3	33.8	33.2	0.5	-
B-1m	33.7	33.8	33.8	33.8	33.8	33.3	0.5	33.6

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H25.12.10)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	8.2	8.2	7.5	8.8	7.9	7.3	0.6	8.7
2m	8.0	8.0	7.4	8.6	7.8	7.2	0.6	8.5
5m	8.0	7.9	7.3	8.6	7.7	7.1	0.7	8.3
10m	8.0	7.8	7.2	8.5	7.7	6.9	0.7	-
B-1m	8.0	7.7	7.2	7.9	7.6	6.6	1.0	8.0

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	17.0	25.0	15.3	17.8	10.2
透明度	4.9	8.0	12.5	7.5	5.2
前回透明度	10.5	7.0	6.5	4.0	2.6

表5 プランクトン(cells/ml)

		アカシオ・ サングイネア	ケラチウム・ フルカ	ミリオネクター ルブラ	ジャイロディニウム属 (ドミナンス、 スピラレ)	ポリクリコス・ シュワルツイ
大谷漁港内	0m	670	0	0	3	1
	2m	1,040	3	0	1	2
	5m	870	0	0	2	2
湾奥ブイ	0m	161	0	0	1	0
	2m	210	0	0	1	1
	5m	310	0	0	1	1
馬の背	0m	21	0	3	1	1
	2m	24	0	0	1	0
	5m	25	0	1	1	0
ガラク	0m	5	0	0	0	0
	2m	2	0	0	0	0
	5m	6	0	0	0	0
津波防波堤 内側	0m	6	0	0	0	0
	2m	42	0	0	0	0
	5m	64	1	2	1	0
市場前	0m	12	0	0	2	1
	2m	31	0	0	1	1
	5m	36	0	0	0	0